

ろっ かく ばし こ どう

# 六角橋古道で

う みず

# 打ち水をしよう!



ゆうてんじぞう ほうしゅうじ ろっかくばしこどう  
祐天地蔵から宝秀寺へと続く、古くからある静かな小道「六角橋古道」。  
暑い夏をしのぐ昔からの工夫である「打ち水」をして、みんなで涼みましょう!

打ち水に使う水は「六角橋古道」周辺の「災害用井戸協力の家」の井戸水です。  
**井戸水の冷たさを実感してみませんか。**

**事前申し込み  
不要!**

当日の飛び入り参加や  
家族での参加、ご近所の方、  
おじいちゃんおばあちゃんも  
ゆかた・じんべい  
**大かんげい!**

とき：令和4年 **8月6日** (土) 午後 **4時** 集合 (1時間程度)

※雨天の場合7日に延期

あつまる場所：**杉山大神** (移動して六角橋古道で打ち水します)

もちもの：水を運んだりまいたりできるいれもの

(ペットボトル、せんめんき、手おけ、バケツなど)

のみもの、帽子、マスク

※熱中症対策、コロナ対策は各自お願いします。



- (1) まず杉山大神で、協力してくれる「災害用井戸協力の家」の場所を教えてください。  
※「災害用井戸協力の家」とは、じしんなどの災害で水道が止まってしまったときに、水を分けてもらえる家です。
- (2) 「災害用井戸協力の家」に行って、おうちの人にあいさつをして、井戸の水を持ってきた入れ物に入れてもらいます。
- (3) 打ち水をします。もらった井戸水を、六角橋古道の道路にそっとまいてみましょう。まいた水がじょうはつするときに、地面や空気が冷やされてすずしくなります!  
※道がいいには水をかけないようにしましょう。
- (4) 終わったら杉山大神にもどって冷たいアイスをお願いします。車に気をつけて帰りましょう。